

## 令和7年度 学校評価アンケート結果についての関係分掌による分析

分野	番号	質問事項	分析等
学習指導	1	生徒の学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。	生徒の肯定的な評価が昨年度に比べ、5%上昇している。生徒実態に即した授業事例を教科内で共有したことや授業のUD化を目指し授業を行った結果と考えられる。
生徒指導	2	生徒に対して、挨拶やマナーなど基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。	生徒90%、保護者81%と概ね肯定的な評価を得た。しかし、昨年度と比べ保護者は7%も下がった。教員は粘り強く指導を行っているが、一部の生徒に対して服装・頭髪指導が徹底できていないことが理由として考えられる。
進路指導	3	学校として、進路目標の明確化に向けた適切な指導を行っている。	生徒97%保護者89%教員96%と高い数値であり、また、昨年度よりも上昇した。職場体験の実施、進学・就職に向けた丁寧な面接指導などがこの結果に結びついたと考えられる。
教育相談	4	学校として、教員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが必要な時に相談に応じる体制ができています。	生徒・保護者・教職員ともに90%以上と高い評価であった。メールによるSC、SSWの来校日の周知、生徒・保護者への案内を丁寧に行ったことがこの結果に繋がったと考えられる。
部活動	5	部活動や愛好会活動は活発に行われている。	生徒95%、保護者79%と肯定的な評価を得ている。特に生徒の評価が90%以上となったのは、スポーツ愛好会の定期的な活動、ゲートボール部の全国大会への参加やモルック愛好会の活動に多くの生徒が参加したことが要因であると考えられる。
生徒会活動	6	学校として、生徒会活動（生徒会執行部・委員会）は活発に行われている。	生徒、保護者ともに高い評価を得た。生徒会が中心になって運営する活動や行事の中で生徒会の活躍する機会が多かったことが高い評価の要因と考えられる。
学校行事	7	生徒にとって有意義な学校行事がある。	生徒92%、保護者95%と肯定的な評価を得た。生徒・保護者とも昨年度よりも評価が増加した。スポーツ大会や文化祭で生徒の意見を取り入れながら企画・運営できたことや保護者に対しては学校HP等を通して学校行事の様子が伝わっていることが大きな要因であると考えられる。
特色ある学校作り	8	本校は、地域や伝統に根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる。	生徒95%、保護者100%、教員100%と高い数値であった。特に蔵王町と連携した学習活動が高い評価につながったと考えられる。
防災	9	生徒や保護者に対して、災害・非常時の避難方法や連絡方法を伝えている。	学校評議員は昨年度同様100%、生徒からは昨年度比2ポイントアップの97%、保護者は15ポイントアップの89%と肯定的な意見が増えた。特に保護者は連絡方法の周知とメールによる引き渡し訓練を行ったことが評価へとつながった。
開かれた学校	10	保護者や地域に対して、学校便り（HP、各種たより）などによって、学校の情報を適切に伝えている。	生徒の肯定的な評価が93%と高水準だが、昨年度と比較すると低下傾向にある。一方、保護者は100%となっており、学校HPや定期的な配信メールにより学校の情報が保護者に伝わっていたことが伺える。
いじめ対策	11	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	昨年度よりも生徒からの評価は高いが、保護者からの評価が少し下がった。生徒・保護者に対していじめ調査を定期的に行っているものの、保護者に対して学校の取り組みを周知できていない可能性が考えられる。
施設設備	12	校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。	業者による校舎の清掃やグラウンド整備は、昨年度同様に実施し、生徒・保護者からは高い評価が得られたが、教員の評価は前年度に比べて19%低い結果となった。キャンパス化に向けた予算縮小等が要因の一つと考えられる。
総合満足度	13	生徒の学校生活は充実している。	生徒・保護者ともに肯定的な意見が多く、学習面、生活面、進路面の充実感の高さが伺える。学習に関する本校の取り組み、学校行事に対する満足度、進路行事や総合的な探究の時間の充実が、生徒・保護者共に高評価に繋がったと考える。
教育課程	14	学校として、スクールポリシーに基づいて教育課程が編成・実施されている。	生徒、保護者ともに評価が高い。しかし、教員からは肯定的な評価が85%と生徒保護者と比較すると10%程度の乖離が見られた。特に本校のグラデュエーション・ポリシーでは「自己研鑽力」、「主体的に問題を解決する能力」、「高い志」の記載があるが教員の評価が低いのは、現状とこれらの目標との乖離が要因として考えられる。